

チャレンジコミュニティ

challenge community club

通信

CHALLENGE COMMUNITY CLUB Ccc

第29号

2015.7 vol.29



紫陽花



東京都庭園美術館



8期生修了式

CONTENTS ■ ぐあいさつ

港区長 武井 雅昭
明治学院大学 社会連携課長 加畑 慎一
CCクラブ 世話人代表 斎藤 正精

- 2015年度CCクラブ新体制の紹介
- ありがとうございますと頑張りますのメッセージ
～8期生から寄せられた声～
- 運営委員会報告・活動計画

チャレンジコミュニティ通信は、 地域活動推進の情報を提供します

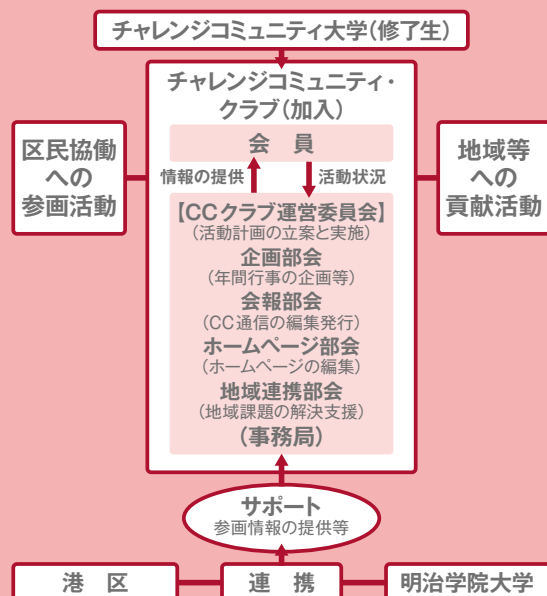
港区は、2007年の4月に地域活動のリーダーを養成することを目的として、明治学院大学との連携により、チャレンジコミュニティ大学を開設しました。この大学は港区在住の60歳を超えた高齢者を対象に夫々がこれまで培ってきた知識・経験を地域に生かし、生きがいのある豊かな人生を創造し、また学習を通じて個々の能力を再開発することを目指して創設されました。

2008年3月、第1期生の修了を機に自主的な運営組織として、チャレンジコミュニティ・クラブ（略称CCクラブ）が創設されました。この大学で学んだ知識を活用し、地域課題の解決に向け、会員が地域活動を推進することを目的としています。このクラブは地域活動のリーダーを育て、港区のまちづくりや地域ネットワークの構築を進め、併せて各人の資質の向上をはかっていきます。

この目的に沿って、主にクラブ会員を対象に地域活動推進の情報提供や活動状況を紹介するため、チャレンジコミュニティ通信を発行しています。

港区からは、区民参画、協働への推進等に関する情報、また地域社会活性化への貢献に資する団体、機関等への参加、NPOやボランティア団体等への参加、地域防災組織等地域の安全・安心活動への参加等、多岐に亘る情報提供を得ていきます。また会員相互の情報としては各団体等での会員の活躍状況や、クラブ企画の講演会・講習会、施設見学会の開催案内等を紹介していきます。

本年もこの通信は会員皆様にとって役立つ情報を発信し、また皆様からも活発なご意見や情報を頂きながら、より充実した内容を目指していきたいと考えています。



「チャレンジコミュニティ・クラブ」 第8期生を迎えるにあたって

■港区長 武井 雅昭

チャレンジコミュニティ・クラブは、発足してから今年で8年目を迎えます。皆さんがチャレンジコミュニティ大学を修了し、地域貢献活動に熱意と意欲を抱かれ、第8期生として、当クラブに入会されましたことを、大変嬉しく、かつ、頼もしく思っております。



チャレンジコミュニティ・クラブの会員の皆さんの活動は、区民参画による検討会や各総合支所の協働事業、更には、ボランティアグループ等の地域福祉活動にも及び、地域社会において多方面でご活躍いただいております。

皆さんの前向きな姿勢に対しまして、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

区は、本年3月、平成27年度から平成32年度までの6年間を計画期間とする港区基本計画を策定いたしました。また、港区基本計画とともに策定した各総合支所の地区版計画では、地域の魅力を高めるため、地区の特性を踏まえた新たな地域事業が多数盛り込まれています。「参画と協働」により築いてきた区民の皆さんや地域との信頼関係のもと、「区民一人ひとりが誇りに思える成熟した国際都市」の実現に向け、計画に計上した事業を着実に実行し、地域の課題解決を図ってまいります。

チャレンジコミュニティ・クラブの皆さんには、今後も、地域コミュニティの育成や地域の活性化への活動を推進するリーダーとして、地域の課題解決に向けご活躍いただけることを念願しております。

チャレンジコミュニティ・クラブの今後益々の発展と、会員の皆さんのご健勝とご活躍を心から祈念いたします。

CCクラブの皆様、9期生の皆様へ

■明治学院大学 総合企画室 社会連携課長
加畑 慎一

2007年度に開校したチャレンジコミュニティ大学（CC大学）も、今年度は第9期生が学んでおり、来年度には第10期生を迎えます。CC大学修了生で組織されるチャレンジコミュニティ・クラブ（CCクラブ）も約480名の大所帯となり、その活動は各地域において多様な展開となっております。



明治学院大学の事務局も、CC大学開校当初は「地域連携推進室」という名称でしたが、現在は「総合企画室 社会連携課」となりました。大学の社会貢献部門として、行政との連携を切り口とした「地域連携」から、現在はそれに加え公的機関（日本赤十字社等）や企業など「社会全体との連携」を取りつつ、さらに「生涯学習」もその領域に加えた業務内容となっています。

当課では、昨年度より「明治学院オープンアカデミー」と称し、本学で開催する「公開講座・公開セミナー」等をメールでお知らせするサービスも開始しました。社会や地域の方々が自由に参加できるような「公開講座・公開セミナー」等も、これまで以上にたくさん企画しております。CCクラブの皆様も、どうぞお気軽にご参加いただければと思います。

教育研究を通じて社会に貢献することは、教育事業体としての大学の使命です。今後も、明治学院の持つ知的資源を広く社会に還元できるような「大学らしい」社会貢献を目指して行きたいと考えます。

CCクラブ8期生を迎えて

■CCクラブ世話人代表 斎藤 正精（6期）

CCクラブ運営委員として3年目となりますが、新年度より代表を務めることとなり、今まで以上に責任が重くなったと感じるこの頃です。過去2年間のクラブ活動により、多くの会員の



方々と出会うことになり、皆様の地域活動事例を直接知ることが出来たことは、自分にとって大きな財産となっています。これらの貴重な経験を生かして、CCクラブのさらなる発展と地域への貢献に寄与していきたいと考えております。

新年度は8期生を迎え会員も500名近くになり、クラブ運営の在り方や方向性についても、いろいろな状況の変化に対応していかざるを得ない時期となっております。今まで諸先輩が築いてこられましたCCクラブの活動を継続しつつ、港区、明治学院大学やNPOなどとの「協働」を推進し、新しい分野へも組織的に参加できたらと思います。地区に分かれる地域CCクラブや各グループ・個人の活動は、ホームページや広報誌「CC通信」を通じてお伝えしておりますが、今後も、地域住民の皆様役に役立つ情報や、様々な分野で多くの会員が地域で活躍している様子を、発信していくつもりです。

CCクラブの役割の一つは、各活動グループ間の連携をとりもって地域と人の輪を広げていき、課題解決に向けリーダーシップを発揮していくことだと思います。

会員の皆様のご協力とチャレンジ精神の発揮を期待してやみません。

ごあいさつ

~~~~~

## 企画部会

### 楽しく参加できる地域活動

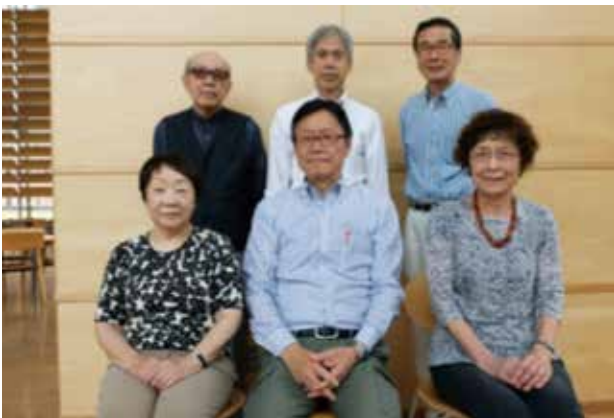
丸山 保夫（7期）

今年度の企画部会員は7名で、活発な議論が始まりました。CCクラブ全体の活動を企画していきますが、その前に本来あるべき姿は？という意見もありますので、それはクラブ全体の課題として議論していくこととしています。

イベントの企画としては表題に掲げたように、楽しく参加できる地域活動を考えたいと思います。現時点では3回＋アルファ行います。

一回目は、CCクラブの活動を紹介し、地域活動への参加を呼びかける「ホームカミングディ」です。教養とお楽しみのイベントも同時開催です。また、現在在学中の9期生の方々にも参加していただき、CCクラブ活動の一端を知っていただきたいと思います。

2回目は、秋の屋外活動です。屋外で学習、親睦活動を行います。なかなか個人では行けないような所へ出掛けることができればと、企画を練っています。



3回目は、年度終りにかけて行う、主に、年間活動のサマリーとしての活動報告会です。港区との連携が進めば、この機会にご紹介するつもりです。また、将来のCCクラブの活動に対しての提案も盛り込めたらと考えます。

この他にも宿泊を含めた研修旅行なども検討中です。

CCクラブの企画は会員全員の為のものですので、リクエスト等あれば遠慮なくお近くの企画部員にご意

見をお寄せください。

楽しい企画となるよう頑張りますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 地域連携部会

### 活動を楽しみながら一歩ずつ前進

野村 知義（8期）

地域連携部会の5名は、部会先輩諸氏からご助言をいただきながら、本年度の活動方針及び年間活動計画について話し合いました。

本年度は特に、港区、明治学院大学はじめ関連部署と連携・協働した事業展開が図られるよう、部員一同との話し合いと全員参画で楽しみながら一歩ずつ前進したいと思います。

CCクラブ活動内の水平展開の推進、教育・防災に関する連携・協働事業の検討、他区と他県の活動状況把握、自主的な研修実施等により、他部会と協調して地域連携部会ならびにCCクラブを、さらに前進させたいと思います。



今後、地域のきめ細かい活動を推進するため、7期と8期を対象にした活動の実態調査を10月頃までに実施致します。是非、ご協力をお願い致します。

CCクラブ会員の皆様は、豊富な経験と知識をお持ちです。まだ知られていない活動に着目し、取材し、それを整理して皆様方と区民の皆様に情報発信致します。その中から新たな活動への目標が芽生えればありがたいです。

積極的な社会参加で安心して住み続けられ、優しく、豊かなまちづくりをみんなで進めましょう。

部会活動にご興味のある会員の皆様方のご参加をお待ちしております。

## ホームページ部会

### 役に立つホームページを目指して

峯崎 恵紀（7期）

今年度から代表に就任された斎藤さんから、ホームページ部会長を引き継ぐよう仰せつかった峯崎です。ホームページの経験は乏しいですが、会員の皆さまのお役にたつ情報を集めて、見やすく使いやすいホームページ作りを目指していきますので、宜しくお願い致します。

現状では記事をホームページに載せることは容易ではありませんが、投稿手順マニュアルを充実させて、操作方法についての講習も行っていくことで、多くの方々に投稿していただけるように努力していきます。

既にWEBを通じて情報をやり取りするのが常識になってきていますので、今まであまりWEBに触れる機会が少なかった会員の皆さまも、ホームページを通じて社会との繋がりを深められるようサポートしていけたらと思っています。皆さまのご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。



#### <基本方針>

ホームページの作成・運用を通じて、会員相互や外部関連機関とのタイムリーな情報共有化や交流を促進し、CCクラブの活動の発展に寄与する。

#### <活動方針>

ホームページ掲載情報の量・質の向上

- ① 記事の件数を増やして、検索回数の増加を目指す
- ② 会員皆さんに役立つ情報を、タイムリーに載せる
- ③ 外部に対して、活動内容を広く発信する

## 会 報 部 会

### クラブと会員の活動を正確に伝えます

太田 則義（7期）

今年度の会報部会は、昨年のメンバーとは一変し、経験年数の浅いメンバーと経験のないメンバーでスタートしました。構成メンバーは3期2名、6期1名、7期1名と協力部員2名の合計6名です。全員で力を合わせ、まず、「正確な会報作り」を務めたいと思います。CCクラブ会員の年齢構成を見ても、ペーパーメディアとしての会報の意味は大きく、確実に会員に届く情報伝達手段です。お手元に届いた会報はぜひお読みいただきたくお願いいたします。

今年度の会報作りもCCクラブの行事を皆様にお伝えすることを基本としますが、少ない誌面を割き、皆様の個別活動を少しでも伝えるページを増やしていきたいと思っています。また、掲載写真の投稿など会員との双方向の交流も増やしたいと思っています。

会報部会は、他部会との連動なしでは成り立たない部会ですが、今年度は、さらにその度合いを高めていきたいと思っています。クラブ全体の広報手段として、ホームページとの連動度合を高めていくことも今後の課題としてあると思います。お互いの長所、短所を補完し合い、情報伝達効果を高めていきたいと思っています。

巻末の運営委員会一覧表に記載してあるメンバーでスタートしましたが、協力部員はいつからでも参加できます。それが当部会の“継続性”のポイントであると思います。是非、会報作りに参加して下さい。





# ありがとうございますのメッセージ

## ～8 期生から寄せられた声～

30 数年振りの学研生活。個性豊かな教授陣と、素晴らしい大学の環境の中で、緊張感を持ちながら、新鮮感動を得た充実した一年だった。特に第3グループで多くの友人を得た事が大きな財産となりました。

今後は、先ず6月からマンション理事会に入り、身近な地域活動を開始します。港区と明治学院大学の素晴らしい企画に敬意を表します。有難うございました。

越智 泰夫

忙しい一年でした。講義を受ける前に、忘れていた私のこれまでの62年を振り返る一年でもありました。そして、社会福祉の大切さを強く感じ、自分の役割の大きさ、やらなければと思い「サロンはなみずき」を立ち上げました。古き良き友を大切にしながら、新しい友も黄金！地域の人々と共に楽しく元気に過し、港区に住み続けたい。

小林 和子



入学式（4月12日 白金校舎アートホール）

CC大学に参加させていただき、視野も広がり、わたしとは別の世界で生きてこられた大勢の新しい仲間とも出会うことができました。また、社会福祉には以前から興味・関心をもっていたのですが、自分が今後何ができるだろうかという課題をもちながら、講義を受けることができました。そして今、身近なところから一歩ずつ歩み出しています。

岡沢 節子

関係者の皆様、一年間大変お世話になりました。講義では、福祉からワインに至るまで、幅広く充実したカリキュラムの内容が、強く印象に残りました。施設見学なども盛り込まれ貴重な体験をさせていただき、視野が広がりました。また、共に学んだ大勢の素晴らしい皆さんとの出会いがありました。今後の様々な活動の中で、学んだ内容を十分活用していきたいと思っております。

S. S.



1254 教室での講義

沢山の学びに感謝します。此からの地域に役立つ重要性、介護予防や福祉関係の基礎知識、体育の理論や実技、施設見学で知った弱者社会の現状、行政が身近に感じられ、今後、どの様に何をすべきか未だ模索中です。

井手 正勝

あっという間の一年間でしたが、とても充実していた一年間でした。明治学院大学で4年間も学んでいる学生が羨ましいです。

これから、どんな形でご恩返しができるのかまだ定かではありませんが、少しずつ地域活動に参加して、みんなが楽しく暮らせるコミュニティ作りに、尽力していきたいと思います。

小原 久世

たくさんの知識と、たくさんの知恵と、そして何よりもたくさんの知己を得た一年でした。若き

日の学生時代をいかに怠惰に過ごしていたかを思い知らされた一年でもありました。

このような機会を与えていただいた港区と明治学院大学には、心から感謝しております。今後は、前向きな級友たちからの啓発を受けつつ、微力ながら一步一步進んでいきたいと思っています。

梶 昌夫

CC大学では、幅広い分野を、専門の先生方から学ぶことができ、知識の上で得ることが大きかったのはもちろんですが、何よりも嬉しいことは、同じ地域に住む同年代の方々と知り合えたことです。今までの経歴や職業などは関係なく、まさしく、学生仲間として関わりを持つことができるのは素晴らしいことです。

これから、私たちに何ができるのかを仲間と考え、実行していくことが楽しみです。 宮下 玲子



アリーナでの体育実習授業

レベルの高い一般教養の授業には大いに啓発され、日常の生活が一層楽しくなりました。また、CCクラブという新しい人間関係が広がったことは、大きな収穫でした。しかし、講義の中心でもありました社会福祉に関する深刻な問題や地域コミュニティの課題には心を痛めます。

今後は、自分の知識と経験を生かし、ボランティア活動を通じて、少しでも地域社会に貢献すべく取り組みたいと思います。 高田 英夫

43 年間のサラリーマン生活とは趣の異なる人達との出会いを新鮮に感じた。自らの価値観を築き

ながら厳しい時代を乗り越えてきた人達だけに夫々の個性が光っていた。

価値観の差が混ざって面白い反面、コミュニケーション面で戸惑いも感じた。授業のやり方には、やや不満を感じた。改善点として、講座数を絞り込み、一科目当たり時間増と課題の深堀り（質問時間を増やす等）をするべきではないか。

寺坂 史明

退職すると新たに友を得るのは難しいが、志を同じくする仲間と切磋琢磨できた事は、大きな収穫だった。議会・諸施設見学や「いきいきプラザ」の存在を知り、行政について意識がいくようになった。スタッフの対応が親切で大変有難かった。

多くの方にCC大学を受講してほしいと思う。この講座がご縁で2年間「悲嘆ケア」の受講を始め、毎日充実した日々を過している。

伊藤 早苗

平成22年に受験予定でしたが、諸事情で断念した経緯があり、今回受講できましたことは感慨深いものでした。

驚くほど幅広い分野の講義とともに、港区の現状と課題まで正確な知識と情報を得ましたことに、感謝いたしております。この貴重な経験を基に、素晴らしい新たな友と力を合わせてCC大学の目的である「地域活動のリーダー」を目指し、行動をスタートいたしたいと考えております。

池田 重郎



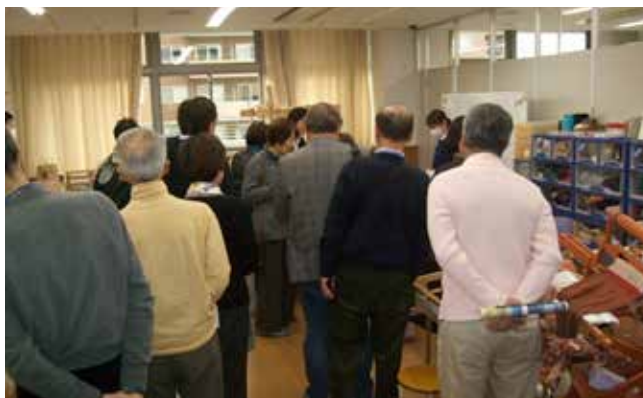
見学と散策（明治学院礼拝堂）

こんなに一年が速くすぎたことはありません。

港区に身をおいて、学ぶという素晴らしい経験をさせていただき、港区と明治学院大学に心からありがたく、深く感謝しております。これから先も素晴らしい方々大勢に出会えるチャンスはおそらくないと思うと、なお貴重な時間とめぐり合いをいただいた喜びに、胸の震えを感じます。知らないまま漫然と生活をするということではなく、知り得たおかげを胸にきざみ、残りの人生を少しでも、お人のためになんでも取り組んでいきたいと思います。

地域活動は、4年前から芝地区総合支所協働推進課が進めている活動の「まちの魅力発掘部会」メンバーで、語り部として芝地区の魅力を発掘して、発信しております。できれば、オリンピックに向けて英語で発信できれば良いと思うこの頃です。車椅子を使われておられる方々の行きたいところ、見たいもの、知りたいことなど、一つ一つ望みを、かなえてあげられるような活動が夢です。

H. S.



施設見学（レインボーハウス明石）

近年の日本の重大な社会問題（少子高齢化、貧困等）については、TV、新聞等のメディアで頻繁に取り上げられ、凡その問題意識はありましたが、今回、体系的、かつ具体的な講義を受け、勉強できたことにより、一層の認識を深めることができました。

43年間の会社人生を終え、この港区を終の棲家と思い始めた今、やはり、何らかの形で地域と関わり、少しでも何らかの貢献ができたらと思っています。

可知 隆志



自然探索（舞岡公園）

以前から、ボランティア活動について勉強してみたいと思っていたら、CC大学の学びのチャンスをいただき感謝しています。想像以上に楽しく充実した授業で、あっという間に一年が過ぎてしまいました。

素晴らしい友達のネットワークもでき、これからの人生ワクワクドキドキが続きそうです。これからは、先輩たちのアドバイスをいただきながら、地域活動をして地域に貢献していきたいと思っています。

加藤 待子

CC大学に入学する以前に40歳半ばで「三輪学苑」という生涯学習に10年程参加した。この学苑の名付け親であったインド哲学者の中村元先生が、「皆さんはこの学苑で知識を増やすのではなく、それを使って知恵を学んでください」と言われたことが、深く印象に残っている。

今回のCC大学の授業内容も素晴らしく、今後、沢山学んだ知識を知恵としてどの様に還元していくか、これが我々の課題である。

M. Kamoshita

一年間とても楽しい貴重な時間をいただき有益な授業、元気な仲間と出会えたことは、大きな喜びでした。残念なことは、熱を出し入学式に欠席したこと、もっと早く入学したかったことです。

これからは、CC大学での素晴らしい経験を、CC大学に余り関心のない人達に楽しさを伝え、自分にも出来るボランティアや楽しみをさがしていく事です。

石黒 公代



学ぶ意欲に燃えて明治学院大学の門をくぐった時の清々しい気持ちは、今、感謝の気持ちと、更にその希望を強くした。CC大学で学んだ良き生を全うするために、知識、体験、他者との絆を大切に、生の充実を図っていききたい。

現実を直視し、同窓生と共に、港区、明治学院大学はじめ多くの方々と手を携え、広く遍く豊かさや平安な社会が享受できる成熟したまちを目指し、生涯現役、生涯学習の気持ちを持ち続けたい。

野村 知義



自然探索（舞岡公園）

日常生活が多忙でありながらも、家族の協力により、一年間通うことができました。少子高齢化、貧困問題、地域コミュニティの希薄化など社会問題は深刻なようです。CC大学で学んだことを微力ですが、今後の地域の活動の中で役立てていきたいと思っています。一年間ありがとうございました。

馬渡 美智恵

あっという間の一年間でした。入学時は何年かぶりの受講で、無事修了できるか不安でした。しかし、いざ受講してみると、幅広い分野にわたる講義、施設見学、音楽鑑賞、港区行政、運動実技など多岐にわたり、水・土の講義が待ち遠しかったです。そして何より、一緒に学んだ仲間たちとの出会いが、これからの私の財産になりました。

修了後も変わりなく切磋琢磨し合いながら、良い親交、情報交換を続けています。港区・明治学院大学の皆様、本当にありがとうございました。

倉田 君代

CC大学で学ぶということは、とても刺激になりました。いつも、ワクワクした気持ちで、教室に向かったことを覚えています。福祉に関するだけでなく、文学、音楽、スポーツ・運動等と幅広く学んだことは、新鮮でした。また、学友達と繋がりができたことは、地元で繋がりを持っていない自分にとっては、嬉しいことです。

今後は、微力でも何か地域活動に関わっていきたいと考えています。

大泉 富士男

グループ・メンバーとの交流、各種見学、合宿等、何十年かぶりにキャンパス・ライフが十分に楽しめ、印象深い一年になりました。CC大学でのカリキュラムと交流を通して、地域の現状や住んでいる方々や、これからの健康や身体へも視線が向くようになり、それらを、今後何らかのかたちにつなげていければと思います。港区及び明治学院大学の支えていただいた多くの方々に御礼申し上げます。

山本 直洋



宿泊研修会

65 才という年令で、CC大学で学ばせていただいた事、集中して素晴らしい授業を受けられた事、本当に感謝しております。今まで出会えなかった方々ともご縁が出来、これからの活動を通して学び合えることを願っています。

一年間、明治学院大学の先生、職員の皆様、港区の行政の皆様大変ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

榊原 愛子

社会福祉面の現状や課題から、経済や芸術等の一般教養、さらに、健康増進面の体験迄の幅広いカリキュラム、また、港区行政面の詳細等、学生時代以上に、熱心に且つ興味深く受講できた一年でした。大学の先生方や港区の職員の皆さんに、心から感謝、感謝です。今後は、CCクラブや同朋会を通じて、少しでも自分に出来る地域活動を実践していけたらと考えております。 牧 捷治

CC大学での学びは、自分が今後どんなボランティアに関わり、社会貢献ができるか手がかりを探ることだと思います。授業では、社会福祉の視点から日本社会の問題をていねいに教えていただいただけでなく、自分自身の今後の精神的、経済的安定をはかる心がまえも学ばせてもらったように感じます。思いがけず、新しい友人に出会う場ともなり充実した一年を感謝しております。

K. T.



修了式（3月14日 白金校舎アートホール）

一年間多くの事を学ばせていただき深謝いたします。安心して子育てができた港区に感謝しつつ、コミュニティと医療の関わりを学びたく受講し、コミュニティの大事さをより深く知ることになりました。今、医療の中に身を置いてきた者として、認知症や要支援の方々に向き合っていかなければいけないと感じています。

学びを活かし、自分に何ができるかを考え、まずは、身近な地域でお役にたてるよう努力していきます。 石黒 富志子

CC大学では各分野専門の先生たちから沢山の事を学ばせていただき、シニア時代を生きる自分に素晴らしい指針となり有意義な日々でした。日常生活では社会を知り、港区を知り、自分を知って豊かな人間になって、自分の出来る事、したい事は何かと考えています。気づかされた事は、経済は沢山消費してシニアはお金を使う事、対人関係はストレングス視点で付き合い、学んだ事の証は、変わる事、行動することの大切さでした。明るく賢く次世代にバトンタッチ出来るよう生活したいと思う。 古川 久江

本当に有意義な一年間でした。この年齢で学生生活を過せる幸せがあるなんて…、キャンパスで大勢の若者に会い、活力も分けていただけました。先生方の講義も熱心で楽しく素晴らしいものでした。また、総合企画室の皆様方大変お世話になり感謝申し上げます。これからは、得た知識を生かし、元気で活動をとっています。

星野 靖枝

“あ”という間の一年間でした。昨年の入学式は、まるで昨日の出来事のように。一年間の時間の流れの中で、私達が生活する地域との関わりや在り様など、各種の知識・情報等を得て、未だ多くの課題があることも知りました。『学んだことの証は、行動する…』と学びました。修了した今、何より嬉しいことは、同じ志を持った頼もしい同期生とともに課題に取り組むことが出来ることです。

松木 勇

CC大学を受講させていただき、学生時代とは異なった視点で、大変興味を持って種々テーマに取り組め、知識の習得と教養を深めることが出来ました。授業や懇親活動を通してグループの仲間同士の理解が深まり、修了時には信頼と相互理解による濃密な関係が醸成されたことが、私にとっては最大の収穫でした。

今後、この関係を発展させて一つの力として、社会に還元・貢献していきたいと思っています。

三好 完治



CC大学での一年間は、私にとってまさに密度の濃い、楽しい学生生活となりました。典型的なサラリーマン人生を送ってきた私にとって、講義は新鮮で、住んでいる地域に対する無知を実感いたしました。ただ、この一年間で学ぶことの楽しさを知り、地域の仲間が出来たことは、本当に幸せだと思っています。このCC大学によって繋がれた縁が、より良い方向に広がる事を考えるとワクワクいたします。

山崎 範夫

行政・福祉・文学・施設見学・体育は実習等すばらしい中味の濃い学習・講義を受け、諸先生方、職員の皆様に感謝し、私にとって皆勤賞もいただき、人生有意義な一年間を過ごす事が出来、とても良い記念となりました。新しい地域の方との交流が始まり、有志の方と研修旅行となる“台湾旅行”が出来、素敵な思い出が一つふえ、充実した楽しい人生をこれから送っていききたいと思い、地域の皆さんとプラス思考で出来る事を模索し、活動していけたらと思っています。水野 礼子

CC大学に参加して、①仲間を得・またその輪が広がりつつあり、②地域貢献に対する動機付けがなされ、③脳に刺激を受け新しい勉強をしたいという意欲が湧きました。機会を与えていただいた関係者の方々に感謝します。今後は、個人として地域貢献活動に参画し、また「CCクラブのあるべき姿」を皆様のご意見を聞きながら考え、その実現に向かって努力していききたいと思います。

秋元 宏

CC大学の一年は充実の一年でした。明治学院の高校、大学生と同じ門を通り教室に向かう自分は、半世紀前の学生時代を蘇らせ、新鮮さを覚えました。久しぶりの授業で睡魔が襲うのでは、という入学前の心配は無用でした。授業の内容の濃さ、先生方の専門知識、話術の巧みさが、自分の向学心を掻き立ててくれました。CC大学での同級生とのふれ合い、出会いは、今後の人生のオアシスとなりそうです。

高橋 善市



箱根宿泊研修にて

### CC通信表紙写真の募集

表紙は、各号の特集の代表的な写真、季節の花、そして、話題の建物で構成する予定です。30号(10月)、31号(1月)、32号(3月)に、皆様のご自慢の写真をお送り下さい。季節の花は、発刊月の季節に合わせ、出来る限り港区内の作品をお寄せ下さい。詳細は会報部会部に御連絡下さい。

## ■運営委員会報告

### 2015年度 CCクラブ運営委員会

| 世話人     | 代表                          | 斎藤 正精             |                  |                             |                 |
|---------|-----------------------------|-------------------|------------------|-----------------------------|-----------------|
|         | 運営委員                        | 登録代理者             |                  | 運営委員                        | 登録代理者           |
| 1 期     | ①塩見 幸子<br>②岩村 道子<br>③江原 一弥  |                   | 5 期              | ①水谷 久美子<br>②田中 勝美<br>③塚田 敏大 | 大竹 裕<br>小林 桂樹   |
| 2 期     | ①野中 義久<br>②野口 美津子<br>③石井 顕子 |                   | 6 期              | ①斎藤 正精<br>②大竹 章久<br>③三澤 清   | 延里 慶子           |
| 3 期     | ①南 明治<br>②雨宮 武<br>③関矢 加智子   |                   | 7 期              | ①峯崎 恵紀<br>②太田 則義<br>③丸山 保夫  |                 |
| 4 期     | ①新田 静子<br>②長尾 孝子<br>③徳竹 道子  | 野上 一治<br>平岩 力     | 8 期              | ①石川 啓子<br>②野村 知義<br>③秋元 宏   |                 |
|         | 部会長                         | 部 員               |                  |                             | 協力部員            |
| 企画部会    | 丸山 保夫⑦                      | 岩村 道子①<br>野口 美津子② | 田中 勝美⑤<br>徳竹 道子④ | 大竹 章久⑥<br>秋元 宏⑧             |                 |
| 会報部会    | 太田 則義⑦                      | 南 明治③<br>三澤 清⑥    | 関矢 加智子③          |                             | 大竹 裕⑤<br>及川 廣子⑥ |
| HP部会    | 峯崎 恵紀⑦                      | 塩見 幸子①<br>塚田 敏大⑤  | 江原 一弥①<br>石川 啓子⑧ | 長尾 孝子④                      |                 |
| 地域連携部会  | 野村 知義⑧                      | 野中 義久②<br>水谷 久美子⑤ | 石井 顕子②<br>雨宮 武③  |                             |                 |
| 地域CCクラブ |                             |                   |                  |                             |                 |
| 芝地区     |                             | 中村 喜美子⑦           | 芝浦・港南地区          |                             | 管 美知子⑦          |
| 高輪地区    |                             | 安藤 洋一②            | 麻布・赤坂・青山地区 (3A)  |                             | 及川 廣子⑥          |

## ■活動計画

第1回 CCクラブ主催行事 (ホームカミングデイ)のご案内

日時: 7月22日(水) 14時～16時半 (13時半受付) 場所: 明治学院大学 バレットゾーン

内容: 第1部「三味線ワンダーランド あなたの知らない邦楽の世界」中島久子さんとお仲間達

第2部「ご一緒しませんか? 私たちの地域活動 ビギナー大歓迎」地域活動紹介

### 編集後記

昨年度から会報部会で写真を担当していますが、ファインダーを通しての構図は簡単なようで難しく、なかなかシャッターチャンスが掴みきれず、苦労の連続です。提供した写真は数知れずですが、会報に掲載されたのはわずか数枚でした。今年度こそはと頑張っています。この会報を修了生480名と在校生60名の方々に読んでいただけると、写真一枚、記事一つも疎かに扱えない気持ちです。これからも読みやすい、見やすい誌面作りに専念したいと思います。会員の皆様から、原稿、写真等の提供をいただきながら、号を重ねていきますので、ご協力をお願いいたします。

(3期 南 明治)



チャレンジコミュニティ通信 vol.29 2015年7月1日発行

発行者 チャレンジコミュニティ・クラブ

事務局 明治学院大学 総合企画室社会連携課

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel. 03-5421-5247 Fax. 03-5421-5387

Email ccclub@mguad.meijigakuin.ac.jp

http://www.minato-ccc.jp

会報部会

部会長 太田 則義(7期)

部 員 南 明治(3期)

部 員 関矢加智子(3期)

部 員 三澤 清(6期)

協力部員 大竹 裕(5期)

協力部員 及川 廣子(6期)